

令和 7 年度 関西医科大学大学院看護学研究科
博士前期課程 入学試験問題 夏期 外国語（英語）出題の意図および解答例

問題 1

1)

【出題の意図】

看護師にとって身近な課題である「燃え尽き症候群」について説明する文章であり、平易な単語を使用されていることから、基礎的な読解力と日本語文章の構成能力を評価する。

【解答例】

このような手法は、看護界では、看護師という職業全体で確立された問題—燃え尽き症候群に効果があるとされ、特に注目されている。

2)

【出題の意図】

本文中から問題に適切な文章を選択する能力、複数の意味を持つ英単語から適切な日本語訳を選択する力を評価している。

【解答例】

1 ヶ月後に、感情的疲労、抑うつ、不安、精神的幸福感、つまり燃え尽きの主な引き金に改善がみられる。

3)

【出題の意図】

本文中から問題に適切な文章を選択する能力、また平易ではあるが複数の意味を持つ単語の中から適切な日本語表現を選択する能力を評価している。

【解答例】

仕事上の慢性的な感情的・対人的ストレス要因に対する長引く反応。疲労、皮肉な考え方、職業的無能感の 3 つの側面と定義される。

4) 【出題の意図】

本文中から適切な文章を選択し、日本語として適切な文章に表現する表現力、単語の意味を正確に把握し、日本語として表現しうる力、また文章中から適切な個所を選択し、適宜要約しうる日本語の文章力を評価する。

【解答例】

燃え尽き症候群を経験した看護師は、仕事や看護から離れる可能性が高く、その結果、既存の労働力がさらに圧迫され、悪循環が助長される。また、直接的な原因がバーンアウトであるとは限らないが、看護師が自殺で死亡する確率は、他の職種と比較して 18%高い。

5)

【出題の意図】

本文全体を正確に読み取る読解力、ならびに解釈力を評価する。

【解答】

d

6) 【出題の意図】

燃え尽き症候群といった看護職にとって身近な課題に関する見識について問うことで、社会の課題を自身の課題としてとらえる力、日本語としての語彙力、表現力、文章構成力、論理的思考力を評価する。

【解答例】

燃え尽き症候群は、日本の看護師にとっても大きな課題であるが、なかでも病院による差が大きいことが知られている。このため、燃え尽き症候群を未然に防ぐ、または燃え尽き症候群になった看護師を組織として早期に発見し、対応することが求められる、など自らの考えを述べていること。